

資金の動きをつかむのは、慣れないと難しいものです。
 当事務所では、このような指導もおこなっています。

設問

期首 B/S と利益計画から資金計画を作成し、9 月末の B/S と P/L を完成させてください。

当社は税込み方式により会計処理を行っている。

- ①売上は未締め翌月現金回収、仕入は未締め翌月現金支払い。
- ②給料、その他販売費は当月現金支払い。
- ③4 月 30 日に 600 万円借入し翌月より返済、元金均等払い 60 月返済、利率年 3.5%。
- ④9 月末の棚卸商品は 700 万円である。
- ⑤定期預金を 4 月から毎月 5 万円ずつ積み立てる。

期首 B/S		千円	9 月末 B/S		千円	
現金預金	3,000	買掛金	7,000	現金預金 ()	買掛金 ()	
売掛金	8,000	未払法人税等	2,000	定期預金 ()	借入金 ()	
商品	5,000	資本金	5,000	売掛金 ()	資本金	5,000
		繰越利益剰余金	2,000	商品 ()	繰越利益剰余金 ()	
				9 月末 P/L		千円
				売上原価 ()	売上 ()	
				給料 ()		
				その他販売費 ()		
				支払利息 ()		
				利益 ()		

平成25年4月～9月利益・資金計画

利益計画

千円

科目	月別	H25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
売上		7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	10,000	43,000
期首商品								5,000
仕入		5,600	7,200	3,200	6,400	4,000	8,000	34,400
期末商品								7,000
売上原価								32,400
売上総利益		1,400	1,800	800	1,600	1,000	2,000	10,600
給料		500	500	1,300	500	500	500	3,800
その他販売費		1,200	800	700	1,000	700	1,300	5,700
営業利益		-300	500	-1,200	100	-200	200	1,100
受取利息								-
支払利息			18	17	17	17	16	85
経常利益		-300	482	-1,217	83	-217	184	1,015

資金計画

千円

項目	月別	H25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
前月繰越(A)		3,000	8,250	6,182	5,815	4,948	5,181	3,000
収現預入金	(売掛金)現預金回収 前受取利息 その他	8,000	7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	41,000
合計(B)		8,000	7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	41,000
現預金支出	買掛金支払い 未払金支払 人件費 厚生費・法定福利費 その他販売費 支払利息 決算関係費 その他	7,000	5,600	7,200	3,200	6,400	4,000	33,400
合計(C)		8,700	8,918	9,217	4,717	7,617	5,816	44,985
差引過不足額(A)+(B)-(C)		2,300	6,332	5,965	5,098	5,331	4,365	-985
財務収支	収入 借入金 その他財務収入 支出 定期預金 長期借入金返済 長期割賦金	6,000	50	50	50	50	50	6,000
財務収支計(D)		5,950	-150	-150	-150	-150	-150	5,200
翌月繰越(A)+(B)-(C)+(D)		8,250	6,182	5,815	4,948	5,181	4,215	4,215

4月開始残
検算

参考(補助簿)

月末残高	項目	H25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
売掛金	月初売掛金残高	8,000	7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	8,000
	売掛金当月発生	7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	10,000	43,000
	売掛金現金回収	8,000	7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	41,000
	売掛買掛相殺							0
	その他減少							0
	月末売掛金残高	7,000	9,000	4,000	8,000	5,000	10,000	10,000
買掛金	月初買掛金残高	7,000	5,600	7,200	3,200	6,400	4,000	7,000
	買掛金当月発生	5,600	7,200	3,200	6,400	4,000	8,000	34,400
	売掛買掛相殺							0
	買掛金現金支払い	7,000	5,600	7,200	3,200	6,400	4,000	33,400
	その他減少							0
	月末買掛金残高	5,600	7,200	3,200	6,400	4,000	8,000	8,000
	長期借入金	6,000	5,900	5,800	5,700	5,600	5,500	

- ①表計算は、利益計画から補助簿・資金計画へ連動する形になっていますが、実務上利益計画は切り離れたほうが資金計画の作成は簡単です。
会社経理方法により、利益計画は税抜き・税込みそれぞれです。
資金計画は補助簿と連動させることにより正確性が増します。
- ②資金計画の翌月繰越残高は定期性預金を除いた現金・預金残高になるようにします。
- ③検算は、表計算で算出された繰越金額に対して、月別の合計額（ヨコ計）を基に算式により算出した最終の翌月繰越金額との一致を確認することにより正しさの検証ができます。
- ④実際の企業活動は、受取手形がある場合それを裏書したり割引したりします。
また、支払手形を振出したりもします。
補助簿（主要勘定科目の動き）の残高がどのようになるのが実態に合うのかを考えながら資金計画を作成して行くことになります。
- ⑤この事例の場合、利益が計上されているにもかかわらず、資金計画の検算欄で差引過不足マイナスです。
定期預金を取り崩したとしても資金は不足し、4月に600万円を借入したことにより資金不足は免れたということになります。